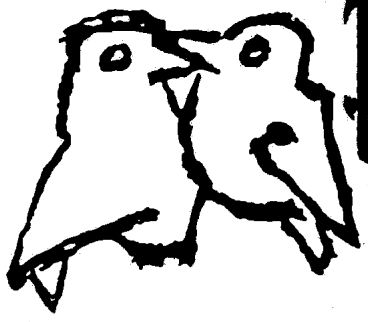


武者小路實篤全集

武安
富集
藏書

学院图书馆
书章



第十一卷

武者小路實篤全集 第十一卷

一九八九年八月二〇日 初版第一刷発行

著者——武者小路實篤

発行者——相賀徹夫

発行所——小学館

一〇一〇一 東京都千代田区一ツ橋 丁目二番一号

振替 東京八二〇〇番

電話 編集 〇二一三〇—五二三四

業務 〇二一三〇—五三三三

販売 〇二一三〇—五七三九

印刷・製本——大日本印刷株式会社

用紙——三菱製紙株式会社

＊著者検印は省略いたしました。 ＊遺本には十分注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。 ＊本書の内容の一部または全部を、無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著者および出版者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ小社あて許諾を求めてください。

目次

無車詩集……………1

自序³

秋が来た 09・9・27〔白樺〕10・10 なまぬるい室 以下四編同じ /4

淋しい 09・9・27 /4

長い廊下 09・10・11 /5

亀の如し 09・10・21 /5

笑つてやりたい 〔白樺〕11・6 日記の内より 以下六編同じ /6

嘲笑へ 11・5・8 /6

誕生日に際しての妄想 11・5・12 /6

他人の親切 /9

今の自分の仕事 11・5・14 /9

黙して歩け 11・5・17 /9

自分達は 〔白樺〕11・7 成長 以下二〇編同じ /10

五十まで /10

意力をもつて 11・5・22 /10

死 /10

若い男と若い女 11・5・24 /10

一人の女と三人の男 11・5・25 /11

師よ師よ 11・5・26 /11

バン・ゴオホ /11

ホイットマン /11

ホドラー /12

ドストエフスキーの顔 11・5・26 /12

淋しさ /12

汝よ 11・5・28 /12

神の意志 /12

巨人 /13

卵の殻 /13

希望に満てる日本 /13

泉の嘆き /14

流 21・5・30 /14

太陽と月 21・5・30 /14

お城の殿様 12・12・25〔白樺〕13・2 小品五ツ /15

先輩に 〔白樺〕14・4 六号詩 以下五編同じ /15

批評家に /15

彼等は /15

しやうがない奴 /16

僕から見ると 14・3・25 /16

浦島太郎の出發 14・4・23〔白樺〕14・5 /16

レンブラント 〔白樺〕15・4 有縁者と無縁者とに /21

春 〔白樺〕15・5 雑九種 /22

喜びは 〔白樺〕17・10 六号詩 以下二編同じ /22

キタナイ詩 17・9・20 /22

疲れたら 〔改造〕20・4 雑九十 以下三〇編同じ /23

書く、耕す /23

身体中が /23

いかにも春 /23

花も /23

俺の子供の時から /23

其処は /24

美しい花が /24

極楽の空気 /24

見たもの /24

俺の真剣に /24

神に愛されて /24

まあゝゝ／24

大きな木／25

さあ俺も／25

果報は／25

俺は、俺は／25

俺をやつてしま／25

袋はくさつたが／25

仏陀と云ふ／25

俺は又／25

一寸(春)／25

健全な／25

神を忘れて／25

だが大きく(春)／25

雨が降つた／25

真理で／25

金山へ行つて／27

すべてのことは／27

子供は／27

神を見た者 (「新しき村」20・4)／28

若き木と春 (「新しき村」20・5 Aの詩)／28

ある大きな木の歌 (「新しき村」20・6 詩「十一」)／29

神 (「雑三百六十五」20 以下二編同じ)／30

或る日／30

本気な者が (「白樺」20・6 雑三十三 以下二編同じ)／30

私は／30

他人の／30

人類の内の／31

よろこびよ／31

戸をたゝく音(一)／31

戸をたゝく音(二)／31

戸をたゝく音(三)／31

戸をたゝく音(四)／31

待つてゐるものが／32

兄弟で／32

俺は (「雑三百六十五」20 以下四編同じ)／32

罪人を／32

生 長／33

自然は元氣／33

もう一步／33

愛と憎／33

心愛に満つる時(一)／33

心愛に満つる時(二)／33

よろこび／34

誰がなんと云つても／34

俺は一生ぶつ通して／34

俺は／34

俺はどうせ強情張りだ(一)／34

俺はどうせ強情張りだ(二)／34

俺はどうせ強情張りだ(三)／35

俺はどうせ強情張りだ(四)／35

俺はどうせ強情張りだ(五)／35

未来の人間(一)／35

未来の人間(二)／35

未来の人間(三)／35

過去の人間／35

我等は／35

俺に托されたもの／37

托された／37

一人の人に／37

働かないでゐられない人間／37

怠け者／38

俺の空想／38

俺は聖人でも／38

本気になつて／38

なるやうになる／39

俺は弟子はつくらない＊

俺は借り着せずに来た＊

正直にして＊

俺はかう云ふ人間だ＊

或る朝／39

自然、必然、当然／39

この道より／39

うざと云ふ迄は／40

俺達は杉の林／40

生命と神の如き自然／40

男子一生の仕事／41

人間の耳／41

夏の夕／41

平和／41

俺はこの幸福を／42

天界の生活／42

愛は／42

海のなかの燈台（詩）20・11 いろいろ 以下三編同じ／42

俺は嬉し／42

笛を吹く 20・11・2／43

悔ひ改めた（一）（「新しき村」20・12 雑感 以下二編同じ）／43

悔ひ改めた（二）／43

神は（「新しき村」21・2 雑感 以下四編同じ）／44

どの枝も／44

耶蘇は生れた今日／44

神の国とは 其他／45

痛快なことや＊

俺が＊

俺は虫のいゝ人間はきらひだ＊

制度の力や＊

俺は＊

進め、進め（「新しき村」21・3 六号雑記）／46

地獄にゐてもいゝ人間が（「白樺」22・4 詩 以下二編同じ）／47

人間の真心の 22・3・22／47

老いたるレンブラント 23・3・7（「白樺」23・4 詩十四 以下三編同じ）／47

春になつた／48

トビアスの婦り（レンブラントの画を見て） 23・3・8／48

死の恐怖（「白樺」23・7 詩十二 以上四編同じ）／49

いくら楽器が 23・5・26／49

混沌たるものよ 23・5・30／49

静かな淋しさ／49

支那の画を（「白樺」23・7 詩三つ 以下二編同じ）／50

花のなかゝら／50

働く時には（「白樺」23・7 六号雑記 以下三編同じ）／50

郵便のくる前／50

郵便の来たあと／50

目をつむつて／51

あの人を見よ (『改造』23・11 ある男 以下二編同じ)／51

遠大な志 23・8・31／52

ヘンドリツケよ (『ひ新しき村』26・7 奈良より 以下二編同じ)／52

静かなねむり／52

いぢけて (『氣まぐれ日記』26 以下二編同じ)／53

嫌ふ奴には嫌はれて

男子一たび決心したことは

叱られると (『草原』24 日記の内より)

心のよろこび／53

この心のよろこび＊

心の云ふ奴は＊

誰の心でも＊

俺の心は＊

のどかな空気が (『草原』24 日記の内より)／54

殺された者に (『生長する星の群』23・12 日記の内より 以下二編同じ)／54

人間はいくら死にたくなつても＊

燃ゆるサバクと／54

矢を射る者 25・11・8 (『人間生活』24・2 日記の内より)／55

生命の王と愛の女神 (『不二』24・11 瞑想)／55

生命の王 25・12・6 (『不二』26・1 亡き父の手紙其他)／56

リンゴの画に題す (『新しき村』27・9 手帳より 以下二編同じ)／56

美に向つて／56

死神に／56

釣してゐる男／57

巨人 (『不二』25・2 詩と感想)／57

作家と批評家 (『独立人』29・1)／57

失題 (『大調和』28・5 以下二編同じ)／57

私はひそかに＊

私は梅の香のやうな＊

私は小さい＊

私は無邪気な＊

何ものも＊

恐ろしい秘密もあれば＊

私はどんな男か＊

ぼうつとかみ処のないもの＊

私は山にゆきたい

私はいつまでも生きてゐたい

春になつた＊

達人は 28・4／59

巨人の足あと (『若き人々』27 以下六編同じ)／59

元の本阿弥／59

一人の男／59

日常の勇士／59

思はぬ時に／59

思はぬ処に＊

一寸先は闇＊

実力よ、ませ＊

開かれないう戸／61

ありがたし／61

大きな山は (『独立人』30・3 三段雜記)／62

いけない／62

暮打は／62

美人と宝玉 (『独立人』29・3 宝玉の詩三つ 以下三編同じ)／62

宝 玉／62

宝玉をつくるもの／63

一つの花 (『星雲』31・2 詩十二 以下七編同じ) / 82

二人の死 / 82

朝から晩まで / 84

老人 / 84

獅子王は隠遁 / 84

暢気ものゝ夢 / 86

稀代の暢気もの / 86

五月 (『重光』33・6 以下三編同じ) / 86

書きたいもの / 87

レンブラント / 88

二疋の馬 (『重光』34・3 詩四つ 以下三編同じ) / 88

二頭の獅子 / 88

勉強 34・2・18 / 90

怒れる獅子は (『重光』34・7 詩十篇 以下三編同じ) / 90

一生の仕事 / 90

一寸法師 / 90

第五十回の誕生日の朝の感想 35・5・12 (『新しき村』35・8) / 90

巨人 / 93

日々進歩 / 94

春 (『日本評論』38・4 牟礼随筆 以下二編同じ) / 94

かくれた所 / 94

泉 38・5 (『日本評論』38・5 牟礼随筆) / 95

あふれたいから (『星雲』31・8 詩四つ) / 95

内からあふれる泉は *

蟬はたゞないてゐる *

巨人はたゞ歩く *

よき画を見るよろこび 36・8・28 (『新しき村』37・5 編集後記) / 96

たゞ前進 (『新しき村』36・12) / 96

一個の人間 (『欧米旅行日記』41) / 96

役に立つか 立たぬか (『蝸牛独語』40) / 97

登山 (『日本評論』39・3 続牟礼随筆 以下三編同じ) / 98

死神 / 98

鉄斎 / 98

もう一步 / 98

もくもくと歩く男 / 99

山に登る男に / 99

生れたことは / 99

人類の内の生長力 * (『星雲』31・8 カット代り) 　　もう一步 * (『新しき村』38・3)

私の仲間、私の友達 (『日本評論』39・5 続牟礼随筆) / 80

へんに生きてゐる * (『新しき村』38・3 画讀其他) / 81

静物 (『美術論集』42) / 81

画讀一束 / 81

野菜の画に / 83

老婆 (『楽園の子等』40 以下三編同じ) / 84

柿の賦 / 86

或る男 / 86

歓喜

序 詩 (『歓喜』47) / 86

喜びの天使 (酣燈社『武者小路実篤詩集』51 以下五編同じ) / 88

仕事の喜び / 91

美しい人間 / 92

チ、アンのある画を見て 36・8・28／94

くゝ墨／94

稻住温泉にて 45・8・10〔『稻住日記』47〕／94

君も僕も美しし (『蘭燈社』武者小路実篤詩集) 51／96

梁楷の「踊布袋」を見て (一) (『馬鈴著』41・10)／96

梁楷の「踊布袋」を見て (二) (『詩と劇』45 以下三編同)／96

歓喜雀躍／96

志賀と僕／97

その男を礼拝する (『野菜讀』44 撫松庵隨筆)／97

もう一息 (『詩と劇』45 以下三編同)／98

二頭立の馬車／98

歩くなり(梁楷の「李太白」から暗示されて)／99

雑草 (『武者小路実篤画集と画論』42 画をかく時)／99

ある画家とある蛙 (『野菜讀』44 撫松庵隨筆 以下六編同)／100

大きな心／100

一本の杉／100

一日一日／101

ヴィオリンの名人／101

人間の心／102

山上に二人／102

孫 (『野菜讀』44 撫松庵隨筆)／103

不思議さよ (『続人生論』42)／103

一筋の道を歩くなり (『武者小路実篤画集と画論』42 画をかく時 以下四編同 二)／103

馬鈴著 (『画をかく喜ぶ』57)／104

美神と人間／104

一人の画家／106

山をかきたい画家／106

夢 (『武者小路実篤画集と画論』42 画をかく時 以下三編同)／107

原稿書からと思へども／107

馬鈴著讀 (『馬鈴著』41・5 日々草)／108

意力 (『馬鈴著』41・10)／109

笛吹く男 (『馬鈴著』41・11 以下三編同)／111

完全にこの土地を／112

それが新しき村 (『馬鈴著』41・12)／112

底ぬけに大きき (『馬鈴著』42・1 日々草)／113

進め 進め (『人生と芸術』41 人生に就て)／113

天を目ざして／113

日々新 (『馬鈴著』42・1 日々草)／114

無絃琴／114

自分の好きな人／114

自分と他人／114

最後のもの (『自画像』41 日日草)／114

風吹けども(渡欧の船中にて) 36・5・19〔『歐洲見聞記』36〕／114

クレタ島を見て 36・6・3〔『欧米旅行日記』41 以下六編同〕／115

フロレンスにて 36・11・21／115

汽車からチエッコの農場を見て 36・8・22／115

大西洋上にて 36・11・9／116

サンフランシスコにゆく汽車中にて 36・11・21／116

一個の人間(太平洋航行船中にて) 36・12・1／116

牧谿と梁楷を讃美す (『牧谿と梁楷』46)／117

図々しく (『野菜讀』44 撫松庵隨筆)／119

新しい種族よ (『続人生論』42)／119

何処までも生きよ (『愚者の夢』46 以下四編同)／120

満八十になつて／120

ありがたき世なる哉／123

第八十回の誕生日に／124
後書き／128

或る男と創物者…………… 一三一

のんき者、のんきな造物者に逢う 「心」64・11／133
私の願ひ 「心」65・3／136
一滴の涙 「心」65・4／141
明るい笑を 「心」65・5／146
楽天家独語 「心」65・6／152
無心の世界
ありのまゝの世界
恐ろしい
真理
真理と暴力
私は信ず
生れてよかつた
人間の為に 「心」65・7／154
ある男の独言 「心」65・8／158
僕はこの頃考える 「心」65・9／160
ぼんやりいい気持 「心」65・10／163
純粹の人間 「心」65・11／166
一老人の独語 「心」65・12／169
梁楷 松下琴客 (以下六編挿絵解説)／170
李成と署名のある或る画を見て／171
無準 布袋／171

伝牧谿 布袋／172
伝牧谿 面壁九年達磨／173
雪舟 「雷」／174
後書き／176

詩千八百…………… 一七七

弱き者よ＊06・6・9『彼の青年時代』23／179
女 06・11『荒野』08 新体詩 以下七編同じ／180
男 波 07・2／180
机によりて 07・10／180
人道の偉人 07・12／180
我が天使 08・1／181
平和の人 08・1／181
恋の悲劇 08・1／182
日はのぼれり (『人生の特急車の上で一人の老人』69 以下四編同じ)／182
過渡期／183
自分は父と母の子だ／183
心中の賊 山中の賊／183
全身に力が満ちた 09・9・30『白樺』10・10 なまぬるい室 以上三編同じ／184
お目出たう 09・10・21／184
我にたよれ 「白樺」10・4 重さ歌 以上三編同じ／184
二つの歌／185
二人 10・3／185
日は照り 「白樺」10・5／186

恋人の夢を見て 11・4・6 (白樺) 15・5 / 185
 世間 11・4・23 (白樺) 11・6 日記の内より 以下一五編同じ / 186
 私は鉄なり / 186
 自分の欲望 / 186
 生の為に 11・4・23 / 186
 私は弱し / 187
 天才と芸人 11・4・29 / 187
 我を憎め 11・4・23 / 187
 私は軽蔑す 11・5・9 / 187
 彼は天才か / 188
 序のかはり 11・5 / 188
 自己と他人 11・5・10 / 188
 彼の風評 / 188
 私は孤独に非ず 11・5・15 / 188
 罪惡の犠牲者 11・5・15 / 189
 ある批評家とある画家 11・5・18 / 189
 新しい家 (白樺) 11・7 成長 以下七編同じ / 189
 鼓舞してくれる人 / 189
 どつちが勝つか 11・5・29 / 189
 別れた処 / 188
 自由になる女 11・5・31 / 189
 批評家の軽蔑 11・6・8 / 190
 百里歩く人と、千里歩く人 11・6・12 / 190
 すべてのものは我に * 12・16・21 (白樺) 12・7 生長 / 190
 或人に好かれやうと思へば (白樺) 12・12 雜感 (1) / 190
 泣くな 12・12・12 (白樺) 13・1 しろく 以下三編同じ / 190
 押してくるもの 12・12・13 / 191
 或若者の言葉 / 191

善良な彼の女が 12・12・28 (白樺) 13・2 小品五 / 191
 この頃自分を * 13・2・5 (白樺) 13・3 六号感懐 / 192
 或人は俺を 13・3・9 (白樺) 14・4 六号詩 以下一三編同じ / 192
 我が妻に 13・3・14 / 192
 お、川よ、川よ 13・3・17 / 192
 火を / 188
 芝居にて 13・3・21 / 193
 さうして自分は勝つ / 193
 天才は云つた / 193
 女よ (女の無智を喜ぶ人の多いのを見て) / 193
 俺は金だ / 193
 だが / 193
 俺は安心だ 13・3・22 / 194
 お前のかくもの / 194
 お前は天才か / 194
 自分は自分にとつて * 13・4・20 (白樺) 14・5 雜感 / 194
 浦島の独白 13・8・14 (白樺) 14・9 詩二 以下二編同じ / 194
 与へるものは 13・8・18 / 195
 読者 14・3・10 (白樺) 15・4 有縁者と無縁者とに 以上五編同じ / 195
 わが友 / 195
 俺が立つてゐるのは / 197
 君達 / 197
 自分が 14・3・11 / 197
 自由だ 15・4・15 (白樺) 15・5 雜九種 以下三編同じ / 198
 自由に裏切られるな 15・4・15 / 198
 今にひどい目に逢ふぞ / 199
 他人の不幸 (白樺) 15・6 或人は云つた 以上二編同じ / 199
 人類に逢つた 15・5・5 / 199

彼等は大勢で 15・5・21〔白樺〕15・6 六号雑記〕／19

あの獅子 〔白樺〕15・8 雑感〕／201

人類の火 〔新しき村の生活〕18 雑感 以下二編同じ〕／201

小悪魔／201

少女は 16・8・20〔白樺〕16・9〕／201

友達の喜び 〔白樺〕17・10 六号詩 以下三編同じ〕／205

飼犬よ／205

雷 16・9・10／205

材料に〔作家より〕 17・2・15〔白樺〕17・3 雑感〕／205

空想家の歌 17・4・24〔白樺〕17・5 六号雑記〕／206

仮面をとれば 〔白樺〕17・11 いろ／ 以下七編同じ〕／206

戦争は／206

俺は〔一〕／206

俺は好んで 17・10・7・8／207

俺は利口だ／209

皆の助力／210

大きな河／210

デイオの死 18・10・16〔白樺〕18・11〕／210

おお、石河内の土よ 18・10・17〔新しき村〕18・12 雑感〕／210

短詩二十四 〔新しき村〕18・12〕／211

人類よ、人類よ＊

我等はこゝに＊

一人の支那人が＊

我等と兄弟の如く＊

未だ知らなかつた兄弟が＊

自分達が往来を＊18・11・7

皆で＊

自分のものと云ふよりは＊18・11・12

少しでもと云ふのが＊18・11・14

だが同時に＊

私達の祈りはきかれて＊

ものゝ勢ひを＊

どん慾の上に＊

自分達は＊

我等は嵐をおそれない＊

我等は人類愛と＊

人類に愛されてゐる間＊

私達はよはい＊

日本はとりのこされた＊

我等は日本の柱に＊

精神が物質の＊

アメリカのウイルソン＊

世界中で＊

新しき村の使命は＊18・11・17

兄弟〔一〕 19・5・10〔新しき村〕19・6 雑二十八 以下二編同じ〕／215

村の歴史／215

心を一つにしやう＊〔新しき村〕19・7 雑感 以下七編同じ〕／216

火をうちに持つものよ＊19・6・14／216

小さな川よ＊／216

何処からこの力はくる＊／217

神と人類は＊／217

ある支那の兄弟に＊19・6・15／217

喜べ、喜べ＊19・6・16／218

器械と人間＊〔改造〕19・7 〔んな原稿 以下四編同じ〕／219

夜はふけて来た＊／219

夜はふけてゆく＊／219

人間は如何に生くべきか＊／219

我等瘠せたり　〔新しき村〕19・9　雑感　以下三編同じ／219

神はほむべき哉／220

村に五人／220

君達の顔　〔新しき村〕19・11　雑感　以下三編同じ／220

人間の為に／220

女よ　19・10・20／220

我等の火　〔新しき村〕20・1　詩五つ　以下五編同じ／220

助け／221

神／221

我等の内に／221

働きて　19・12・4／221

君達は死んだ＊19・12・15〔新しき村〕20・2　六号雑記／221

働きの歌　六　20・2〔新しき村〕20・3〕／222

今日も亦＊

そしてあしたも亦＊

なすべきことをなした＊

我等は自ら進んで働く＊

我等は働く＊

我等は自己を＊

心清き時は　〔新しき村〕20・4　雑感　以下七編同じ／223

よき人よ／223

人間よりも／223

正直であれ／223

我が仕事／223

我は人間を信用する／224

神とは何ぞや　20・3・5／224

一生を真剣に／224

我等に　〔新しき村〕20・4　雑感　以下一編同じ／224

支那人が　20・3・6／224

自然のまゝは　〔改造〕20・4　雑九十　以下六〇編同じ／224

頭が／224

工場で／224

神と云ふものは／225

立ち上つたら／225

本気に／225

死ぬ淋しさ／225

だが／225

お前と（春）／225

俺も（春）／225

病人は（春）／225

だが皆が／225

ふやけて（春）／225

俺は大したことを／226

いゝ本を／226

悪いものは／226

粗雑な／226

真剣になつて／226

俺は人間として／226

俺が人間に／226

坂をあがる車／226

お前の心／226

枯草をやく／226

もう一息／227

正しいことをするものが／227

不正な奴が／227

お前のかくもの／227
俺の嫌ひな人間／227
草や木は／227
馬鹿な／228
何歳から何歳の男／228
することだけはする／228
金と暴力で／228
俺は俺の頭に切り／228
正しいと思ふことならする／228
つくれるか／228
今の人間／228
昔／229
基礎／229
その家は／229
俺の望みは／229
十年後／229
俺が俺がと／229
俺の生きてゐる間は／229
仏陀の／230
この真理が／230
真理より／230
俺には何もかも／230
俺にはたしかに／230
大きな舟は／230
一通りの美しさでは
人類の傲りになるもの／230
俺達の内に／231
見かけは／231

お前はお前が／231
俺の仕事は／231
その覚悟が／231
俺の友に／231
自分さ／231
自分の欠点 20・3・9／231
太陽（新しき村）20・5 Aの詩 以下一八編同じ／232
喜びの使よ／232
仲間は／232
淋しさ／232
すべてが 20・3・27／232
命令／232
妻や子（あるロシア人の歌） 20・3・28／232
私は生きてゐる間／232
俺は（二） 20・3・28／233
心の清められたる時／233
下等なこと／233
雨は降る／233
俺だつて 20・3・28／233
真理の光／234
妾が（ロシアのある女にかはつて）／234
自分の子供／234
我等は（一）／234
人類の多数／234
よき兄弟姉妹 20・5・9（「新しき村」20・6 詩二十一 以下二〇編同じ）／235
能力者／235
我等は兄弟姉妹 20・5・11／235
兄弟姉妹よ／235

ある支那人に／236
人類／236
時は来つゝあり／236
他人と自分／236
協力して／236
皆が／236
背のび／237
生命／237
もう二三年／237
方々で／237
面白う時／237
より正しいもの／237
正しいと云ふことの／238
愛してくれるもの／238
俺は感謝する者だ／238
俺は一步ふみはつせば
天才『雑三百六十五』20・5・16／238
夏が来た／239
暑　　／239
木の葉の色／239
生きると／239
怒鳴り／239
ある友達　20・5・17／239
一滴の水　（白樺）20・6　　雑三十三　以下二三編同）／239
一滴の水で／240
一滴の水よ／240
俺一人では／240
諸君の力／240

何処を見ましても／240
君達の真心／241
力を一つにすることは／241
兄弟姉妹（一）〔一〕／241
私は返事してゐるのです／241
兄弟姉妹（二）〔二〕／241
新しき村〔一〕／241
兄弟（二）／241
個人を個人に／242
自己を／242
俺達には／242
自分達の力も／242
暴力でも／242
わかつた／242
真　心／242
神と人間／243
人の云ふこと　20・5・18／243
小鳥が『雑三百六十五』20　以下二三編同）／244
自分の兄弟姉妹と思へなうもの／244
俺の兄弟姉妹は（一）／244
俺の兄弟姉妹は（二）／244
俺の兄弟姉妹は（三）／245
俺の兄弟姉妹は（四）／245
俺の兄弟姉妹は（五）／245
一生勝手なこと／245
虫のさ／245
いくら説教されたつて／245
俺は人間だ／245

俺を感じさせれば／245
悪にも善にも／246
新しい生活／246
自然が／246
戸をたゝいた／246
なんでもかんでも／247
この事／247
皆が黙つたら／247
真心を／247
真心を生かす敵／247
芸術家は／248
何時か／248
兄弟〔3〕／248
一本のマツチの火／248
一人の人の／248
卵／248
君と同じ人間／249
かゞみを見ると 20・5・22／249
自然のままに／249
美しい女／249
自分の仕事／249
自分に出来なす仕事を／249
思はぬ処に／249
無理して／249
夏の朝／249
この力よ／250
雲雀よ 20・5・23／250
もう一步（一）／250

兄弟姉妹〔3〕／250
独立と協力／250
覚めよ／250
ほとゝびす／250
鷺よ／251
戸をあけて／251
平和なよろこび（一）／251
俺は都会の内にも／251
平和なよろこび（二）／251
平和なよろこび（三）／252
我等の使命／252
兄弟姉妹〔4〕／252
兄弟姉妹を／252
よろこびを／253
清きよろこびを／253
心清まり／253
よろこび〔1〕／253
よろこび〔2〕／253
汝と我と／253
マルクスとトルストイ／254
正しく生きやうとする／254
正しく生きやうと欲する者／254
正しく生きやうと欲する者は／254
人間の美德／254
新しき村が／255
我等は〔2〕／255
俺は誰が／255
新しい世界は／255